QBS Kyushu University Business School
NEWS LETTER
九州大学ビジネス・スクール／ニューズレター〈創刊号〉
Vol. 1
2007.12

TOPICS

QBS生まれの有田焼焼酎「八起」ロンドンインターナショナルアワード銀賞受賞

有田焼窯元と広告デザイナーのコラボプロジェクトのキッカケは、実家が有田焼窯元の2期生久保田康さんのプロジェクト論文で扱った低迷する有田焼を活性化するアイディアでした。“個人がデザインに参加できる有田焼”というコンセプトが魅力的で、同級生で広告会社に勤務する金子信司さんが久保田さんの兄が社長を務める久保田稔窯業所（有田）を訪問。金子さんのプロデュースで12人の広告デザイナーが“新しい有田焼”をコンセプトに、50作品をデザイン。厳選13作品を有田焼で製作、コラボ展を福岡市内で開催致しました。その後、事業拡大の資本を得るべく応募した佐賀県でのビジネスチャレンジで落選。紆余曲折があって、“このプロジェクトも終わったか”と思った矢先でした。会社の同僚がボトルデザインの仕事を持って来てくれました。新たな出会いが其処にあり、その結果、世界初！ゆれるボトルの有田焼焼酎「八起」が生まれ、上記の受賞につづいて、ドイツのレッドドット賞、日本ではグッドデザイン賞と福岡産業デザイン優秀賞を頂きました。

このプロジェクトの経過詳細はブログで紹介しています。http://blog.goo.ne.jp/kaneko0420

芋焼酎「八起」750ml　(株)ルネサンス・プロジェクト

BBIQモーニングビジネス・スクール、高聴取率獲得、快調にオンエア中！！

BBIQモーニングビジネス・スクールはクロスFMで月～金の朝7：30～40に放送されています。QBS教員に加えて、他の九大専門職大学院（ロースクール、実践臨床心理）の教員もレギュラー出演し、パーソナリティの後藤心平氏を相手に、世の中の出来事や事象をそれぞれ独自の切り口で解説するビジネス・スクールらしい番組です。日によっては、ＱＢＳ卒業生の起業にまつわる話、昼働き夜学ぶ社会人学生の悪戦苦闘の物語、中国留学生の福岡での学生生活などのエピソードも放送され、バラエティに富んだ内容となっています。音楽をメインとするＦＭラジオ局としてはたいへんユニークな番組ですが、今年６月に行われた調査では、ビジネス・スクールのメインターゲットである30代男女ともに、ラジオ番組としては異例の3パーセント以上という在福ラジオ局中最高の聴取率を獲得しました。

このラジオ番組のプロデューサー役を買って出たＱＢＳの出頭教授は「大学から社会に情報を発信したいと考え企画しました。スポンサーとなってくれたＢＢＩＱに心から感謝を申し上げたい。ＱＢＳの同窓会が番組制作に全面的に協力しており、しかも、その報酬を中国留学生の奨学金として寄附していただいています。ＱＢＳ卒業生の心意気に感激しています。」と語っています。

＊ＢＢＩＱモーニングビジネス・スクールはポッドキャスティングでも聴取可能。番組のブログ（http://bbiq-mbs.jp/blog/）も開設されています。

TOPICS

第7回 ICABE学生交流プロジェクト　中国人民大学を訪問

第7回 ICABE学生交流プロジェクトでは、教員2名（星野 裕志 教授・高田 仁 准教授）、QBSの1年生5名、2年生6名、QBS事務職員1名の合計14名で、北京を訪問しました。

9月14日（金）～9月17日（月）の4日間の日程で、中国人民大学、ジェトロ（JETRO）北京センター、松下彩色顕像管（北京）有限公司を訪問。中国人民大学ではグーグルのケースを用いた活発な意見の交換、学生同士のプレゼンテーション・討論会など、実りの多い交流・交換が持たれました。また、九州大学北京事務所のご尽力で、九州大学を卒業して中国国内で活躍する同窓会の先輩たちとも、和やかで有意義な時間を持ちました。

9月15日／中国人民大学での交流

●中国人民大学学生との対面　QBS高田准教授によるイントロダクション

●星野教授 ケース・ディスカッション
「グーグルと中国政府：クロスカルチャービジネスの成功の要件」
星野教授の講義／活発に発言する日・中学生

●中国人民大学学生と記念撮影

9月16日

●JETRO北京センター 副所長 真家陽一氏 講演
「2007年上半期の対中直接投資動向」

●北京・松下彩色顕像管（CRT）有限公司（松下ブラウン管株式会社）

董事・総経理の横枕 光則氏（1979年九大機械工学（修士）卒業）による企業紹介

工場見学で説明に聞き入るQBS生

●九州大学北京事務所主催 OB／OG企業家 交流会

北京在住の九大OB／OGとの交流パーティー　日本郵船福山氏の挨拶

OB・OGの皆さんと記念撮影

ICABEとは、産官学の国際的なネットワークを形成することによってアジアビジネス教育の高度化を図る「アジアビジネス教育国際コンソーシアム（International Consortium of Asian Business Education）」の英語略称です。学生交流や研究会などを定期的に行っています。

TOPICS

平成19年度 交換留学生が来日

QBSは、北京の中国人民大学、北京大学、上海の上海交通大学、復旦大学、南京の南京大学、杭州の浙江大学、吉林省の吉林大学、大連の大連理工大学と東北財経大学、瀋陽の東北大学といった中国の主要なビジネス・スクールと提携しています。これらの提携校と学生を交換し互いに海外で学びあうことによって、相互理解が深まります。交換留学制度は、はじめに母校で1年ビジネスの基礎を学び、2年目の前半に提携先ビジネス・スクールに1学期間交換留学し、最後は母校でMBAを取得するものです。交換留学制度は2006年度から発足し、1年目は瀋陽の東北大から3名、南京大から2名、上海交通大から1名が来てくれました。

QBSから派遣した交換留学生は、上海交通大に2名（豊住さん、正岡さん）、復旦大が1名（井上さん）、シンガポールマネジメント大（九大提携校）に1名（董さん）でした。2年目の2007年度は、東北大から2名（蒋さん、李さん）、南京大から2名（胡さん、劉さん）、東北財経大から2名（孫さん、仇さん）、上海交通大から1名（李さん）がQBSに留学中です。

QBSの産学連携活動 ―企業内研修プログラムの提供

QBSは積極的に地元企業との連携に取り組んでいます。その主要な活動は、企業からの要請に応じた社員研修プログラムの提供です。第１弾として東陶機器株式会社（TOTO）からの委託により、2004年度以来、「九大TOTOビジネスカレッジ」の運営に取り組んできました。また、2006年度からはコカ・コーラウェストジャパン株式会社（CCWJ）からの委託により、「九州大学―CCWJ経営塾」を推進しています。

「九大TOTOビジネスカレッジ」は、TOTOの中堅社員から若手課長層までを対象として、同社における次世代・次々世代の経営人材を育成することを目的に、基本的な経営リテラシーを身に付けるための研修プログラムとして開発されたものです。一方、「九州大学―CCWJ経営塾」は、CCWJの部長層および課長層を対象として、経営職に求められる知識と実践的な能力を高める機会を設定するために開発された研修プログラムです。いずれも研修期間は半年間に亘り、その間、QBSの専任教員を中心とする講師陣が連携先の研修センターなどに赴いて講義に当たっています。

このような相手先の要望に応じたオーダーメード型研修プログラムの提供は、QBSの産学連携活動としても社会貢献活動の一環としても、重要な位置を占めるものです。

ICABE 九州・中国ビジネス研究会 第9回研究会を開催

この研究会は、アジアや中国での豊富なビジネス経験を持つ講師陣による実践に役立つ話を提供し、議論と情報交換を行うことによって九州企業の中国事業の発展に役立つことを目指すものです。

QBSは、後援組織のひとつとして支援しています。2007年2月に発足して以来、現在では、会員数も100名を超えました。

研究会は、月に1度アクロス福岡にて会員を対象として行っています。9回目となる10月の研究会では、九州大学アジア総合政策センターとの共催により元ヤオハン代表の和田一夫さんをお招きして、一般公開の形でセミナーを行いました。当日は200名強の参加があり、和田さんには自らの過去を振り返りながら「失敗から学ぶ」チャレンジ経営哲学を語っていただきました。

学生紹介

修了生
丹生 晃隆さん（2期生）
所属
島根大学産学連携センター

QBSを修了して２年目、修了と同時に転職し、現在は島根大学の産学連携コーディネータとして活動中です。学内外の産学連携、地域貢献の窓口として、日々企業、地元の自治体、学内の先生方からの相談に対応しています。島根は全くの新天地ではありましたが、2年目に入ってかなり活動の幅も広がって参りました。都市部と比べて相対的に少ない経営資源を繋げて、どのように産学連携の成果を上げていくのか、決まった「枠」はないながらも、仕事を作り出していくのがコーディネータの仕事です。戦略性はあまりありませんが（苦笑）、今はとにかく動き回り、できることは何でもしていこうと思っています。そんな中から、将来、自分なりに産学連携や地域の「戦略」を考えられるようになればいいなと。産学連携だけでなく、また皆様とどこかで繋がりができることを楽しみにしております。

修了生
張　軍さん（3期生）
所属
日本紙運輸倉庫(株)営業開発部

今年3月にQBSを修了し、4月から日本紙運輸倉庫（株）に入社しました。最初の仕事、基礎の業務を学ぶ中で、QBSで勉強してきたことが使えます。今まで、部門の組織構造改革、また所属チームの効率の改善等を提案してきました。考えてみると、これらはすべて、QBSで学習したことが役だっています。

私がQBSで獲得した最大の知識は、常に問題意識を持つことと解決策への思考習慣であると思います。QBSでは、ケーススタディーを通して、問題意識を磨き、更に、企業戦略、マーケティング、企業財務等様々な視点から問題を認識し、解決策を考えられるようになりました。

また、振り返ってみると、QBSの場を借りて様々なバックグラウンドを持つ方々、また、中国をはじめとするアジアの有力なビジネス・スクールの方々とも交流し、お互いに勉強できました。これもとてもとても貴重な経験であったと思います。

これからは、皆さんと一緒にQBSの先輩、後輩、更に姉妹としてのアジアの有力なビジネス・スクールの方々との連絡を保ち続け、ネットワークを作っていきたいです。更に職場で能力を磨いて、QBSのブランドを高めるために頑張っていきたいと思っています。

メディアに紹介されたQBS修了生・在校生

■**中国人IT技術者向け研修センターを今年5月飯塚に設立　若杉誠司さん（4期生）**
日経ネット 2007年5月25日（日本経済新聞社）　読売オンライン 2007年7月18日（読売新聞）

■**特集記事　経営資源は「知財」と「人材」**
技術開発・市場開拓に挑む福岡の大学発ベンチャー10社
坂根 毅さん（3期生）　武石誠司さん（3期生）　坂本 剛さん（4期生）　永里壮一さん（4期生）
ふくおか経済 2007年11月号

■**「第2回モノづくり連携大賞」で九大知的財産本部での活動が特別賞受賞　坂本　剛さん（4期生）**
日刊工業新聞 2007年11月9日

■**大学発ベンチャー支援のネットワークづくり　坂本　剛さん（4期生）**
産学連携ジャーナル 2007年5月号

■**二足歩行ロボットアミューズ機開発会社について　永里壮一さん（4期生）**
日経ビジネス 2007年10月22日号　日経ビジネスオンライン 2007年10月23日
佐賀新聞等地方各紙（共同通信）　フジサンケイビジネスアイ 2007年10月28日
日刊工業新聞 2007年10月29日　フジテレビ系列「めざましテレビ」 2007年10月31日
TBS系列「知っとこ」 2007年11月6日

平成20年度特別選抜入試のご案内

九州大学ビジネス・スクールは、「世界に通用するビジネス・プロフェッショナルの育成」を目指し、特に「技術経営（MOT）」と「アジア・ビジネス」に関する実践的知識を有する人材の育成に注力しています。本特別選抜枠は、これら注力分野の関連業務に従事している社会人を対象として、その資質・能力の高度化に対する勤務先の要請が、当スクールのカリキュラムに適合的であると期待される学生の募集を重点的に行います。

特別選抜募集概要

■人員：若干名　■出願期間：平成20年1月21日（月）～1月28日（月）

募集要項の詳しい内容は、九州大学ビジネス・スクールのホームページをご参照ください。
http://www.en.kyushu-u.ac.jp/BS/

QANだより

QBS Alumni Network（QAN）第2回総会を開催

QBS修了生の会として発足したQAN（QBS　Alumni　Network）の第2回総会が、2007年10月20日（土）に九州大学のファカルティクラブにて開催されました。現会長の松岡誠一さん（3期生）、副会長の因浩之さん（3期生）、原由公美さん（3期生）を中心に準備が進められ、当日は、修了生、在校生、教員を交えて50名を超える参加者にて開催されました。昨年退職された永池先生、10月からQBSで学んでいる交換留学生の顔もあり、総会のあとの懇親会は、盛会となりました。総会では、公式サイトの改修を含めた今後のQAN活性化についても議論がなされ、今後の発展が期待されます。

【QAN公式サイト】http://qan.en.kyushu-u.ac.jp/

編集後記

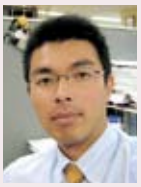
このたび、QBS発足5年目にして遂にニューズレターを発行する運びとなりました。年3回発行の予定で、企業や各種機関、修了生、在校生などを中心に計1,000部を毎回配布します。QBSにまつわる様々な活動や在校生＆修了生の活躍などを取り上げてご紹介しますので、どうぞお楽しみに。ニュースソースやご意見・ご要望をお持ちの方、お気軽にご一報ください。（高田・花田）

●九州大学ビジネス・スクールに関するお問い合わせ：
812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1　貝塚地区事務部教務課専門職大学院係　TEL：092-641-4167
URL：http://www.en.kyushu-u.ac.jp/BS/

学生紹介

在校生
田畠 光一さん（4期生）
所属
不二法律事務所　弁護士

私は、弁護士という専門職にこそ、MBAは必要であると思い、QBSに入学しましたが、現在、それは間違っていなかったと確信しています。本来、経営上の様々な問題を解決するためには、法律という視点だけでなく、経営という大局に立った視点から立体的に捉える必要があります。その結果を前提に、必要な法的スキーム等を用い、企業全体として適切な解決が図れる方針を立案・助言することは、かねてから日本の弁護士に求められながらも不足していたサービスではなかったか、と日々の業務を通じて痛感しているところです。弁護士業務と授業を両立することは、時に（たびたび）困難なこともありますが、今後も、更に経営を学びながら、実務にフィードバックしていきたいと思っています。



在校生
富松 寛考さん（5期生）
所属
タイ国政府観光庁
福岡事務所

自身の目標に向かっての取り組みの中で必要とする知識と能力を高めようと考えQBSに入学して早くも9ヶ月が過ぎようとしています。
実際、学ぶ難しさと仕事との両立の大変さを痛感していますが、それ以上に、学校では仕事分野が違う新たな仲間と共に学ぶことで様々な意見交換から発見があるなど、授業からのみではなくそれ以外からも得られる付加価値を実感する充実の日々です。
幼少をタイで過ごし第2の母国と捉える『タイ』を、もっと観光業を含め様々な事業で一つのブランディングとして確立させ、行政と民間を統合したアンテナショップの役割を果たしうる新たな事業形態を福岡から展開することを目標としていますが、今は本格的な取り組みを前にした基礎体力作り中と言ったところです。

編集発行　九州大学ビジネス・スクール
担　　当　QBS事務室
住　　所　〒812-8581
　　福岡市東区箱崎6-19-1
電　　話　092-642-4278
E-mail：bs@en.kyushu-u.ac.jp